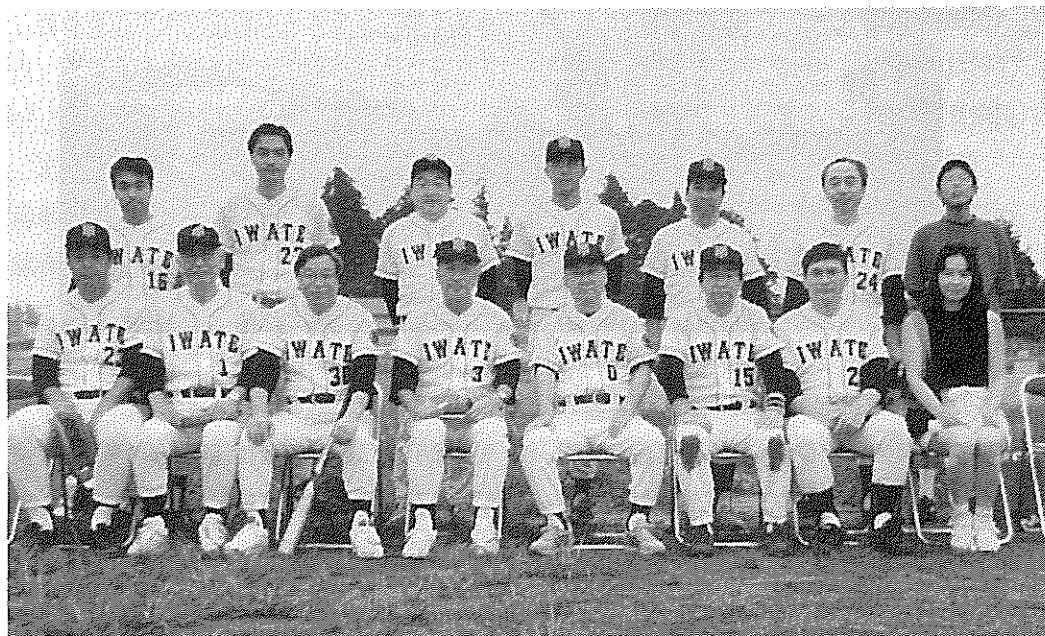


岩手郡医報

平成7年10月 No50
 編集 発行
 岩手郡医師会
 题字 零石町高橋孝先生



岩手郡医師会野球チームメンバー

今年も8月～9月にかけて、県医師会の行事として野球大会（8月27日）、ゴルフ大会（9月10日—別掲）が、それぞれ矢巾町、軽米町を会場として行われた。各郡市医師会の持ち回りで行われるこれらの大会にもわが岩手郡医師会の精銳も参加した。

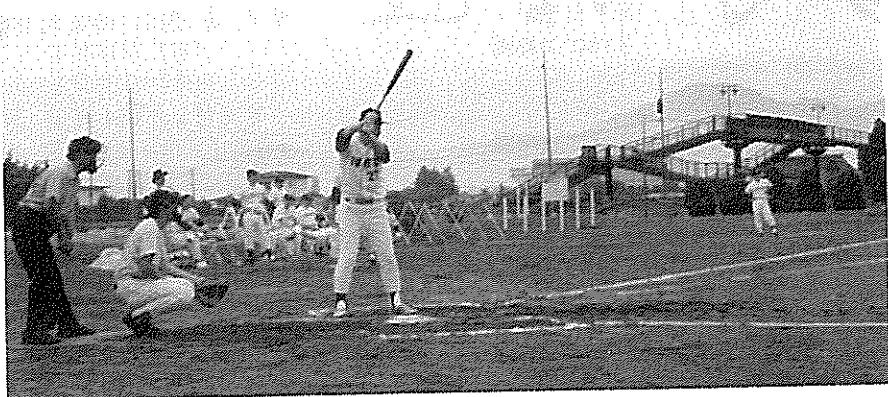
野球大会では、一回戦で強豪の名声が高かった二戸医師会（県立病院の若手医師が積極的に参加しているため（？）若さあふれるプレーが多い。）と対戦し、0—17の大敗であった。その後二戸医師会は勝ち進み、雨天による準決勝に残った4チームによるジャンケンの結果、優勝を逃したというが、ゲームが行われていれば、優勝も可能であったろうと思われるチームであった。（M. S. 記）

目次

第47回岩手県医師会親睦野球大会	おらほの先生 西根町 平館クリニック 9
三善 悟 1～3	隨想 三角関係の清算の仕方を教えて
第29回岩手県医師会親睦ゴルフ大会	高橋 孝 10
坂井博毅 4	第22回 日母大会に参加して 鳴 信 11
各地区だより	岩手郡医師会行事予定 11
零石町地区、玉山村地区 5～6	平成7年度 県民健康講座カリキュラム 岩手町 12
岩手町地区、西根町地区 6～8	編集後記 12
新入会員 8	

第47回岩手県医師会親睦野球大会に参加して

玉山村 三 善 悟



岩手郡医師会の主砲 久保谷康夫選手

8月27日、高橋会長宅をバスで朝7時15分出発。高橋会長、佐藤（郁）、西島、及川、遠藤、久保谷、佐藤（一）、三善のメンバーである。（敬称略）

盛岡の西側の道路をヒタ走り、開会式場の矢巾町田園ホールに到着。30分足らずの行程であった。嶋先生はキャプテン会議に出席のため先着して居た。

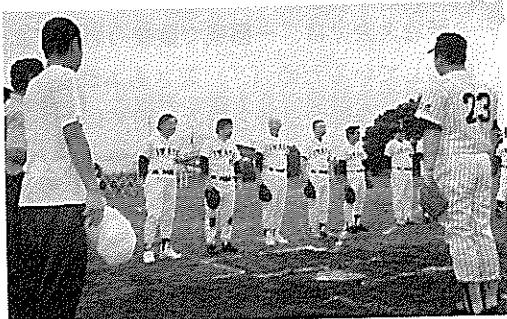
いつか田園ホールで音楽を聞きたいと思っていたが初入場が野球大会の開会式とは。まずは立派な会場である。そして紫波郡医師会斎藤裕会長の挨拶の如く今迄の慣習にとらわれず、簡素で、而も品格のある式であった。

野球大会会場は八ヶ所に別れ、吾々は国道4号線沿いの徳田小学校で、バックネットはあるがピッチャーマウンドもない小さな狭い

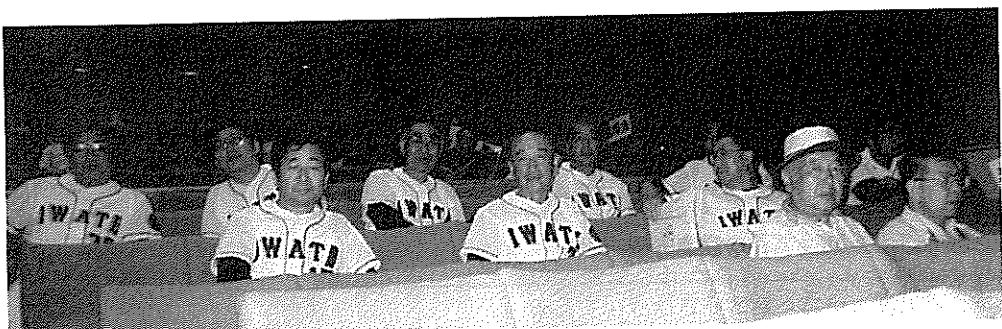
グラウンドである。

相手は二戸医師会、優勝5回の強豪である。岡田、土谷、篠村（達）、高橋（克）、各先生も車で到着。両軍揃って挨拶、ユニフォームに身を固めれば皆名選手に見え甲乙つけ難し。

相手投手は速球が冴え、変化球も切れ味鋭く一回表三者凡退、一回ウラが始まった。今迄試合した中で、これ程完膚なき迄打たれ走



対二戸医師会に完敗し脱帽



開会式会場（田園ホール）

られた事があったかと思う程。ノーアウトで、スコアブックの一回の行が足りなくなり、二回の行に書く有り様で11点もぎとられた。吾が軍は二回表の攻撃もなす術なく三者凡退。二回ウラ二戸チームはホームランに始まり6点。三回表又も三人で討ち取られ、コールドゲームが宣せられた。

正に野球は若さとスピードのスポーツ。平均年令7才弱の差あり、その上今迄十五、六試合消化したと聞く。当医師会は試合当日初めてユニフォーム着用し、練習ゼロでは試合前に勝負あったである。

出場した諸先生、殊にキャッチャーの嶋先生は本当に御苦労様でした。

ゲーム終了後、紫波郡医師会の用意した、煙山ダムそばのパストラルバーデン（懇親会場）で温泉に入り、心尽くしのビール、料理を御馳走になり、続々集まる敗軍の選手達と挨拶し乍ら帰途につき、盛岡で慰労会、反省会を行い今年の親睦野球大会は終わりを告げました。

次期開催の村谷北上医師会会长の挨拶にあつた様に、来年は北上に是非おいで下さいということで勝敗は別に又皆で参加したいと思います。

健斗と応援、御苦労様でした。終りに吾が医師会のメンバーを御紹介致します。

岩手郡医師会

〔先発メンバー〕

- | | | | |
|---|-----|-------|-----------|
| 1 | (二) | 岡田 信親 | (葛巻病院) |
| 2 | (捕) | 嶋 信 | (嶋医院) |
| 3 | (投) | 佐藤 一 | (田山診療所) |
| 4 | (三) | 土谷 正彦 | (平館クリニック) |
| 5 | (遊) | 久保谷康夫 | (鳶宿温泉病院) |
| 6 | (一) | 遠藤 哲夫 | (遠藤医院) |
| 7 | (右) | 篠村 達雅 | (篠村医院) |
| 8 | (中) | 及川 忠人 | (東八幡平病院) |
| 9 | (左) | 高橋 克郎 | (葛巻病院) |

〔三塁側控え〕

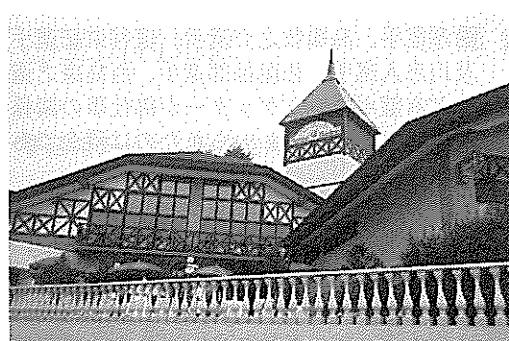
高橋牧之介会長、佐藤郁郎、西島康之、三善悟

〈1回戦 対二戸医師会〉

	1	2	3	計
岩手郡	0	0	0	0
二戸	11	6	×	17



三塁側控席ベンチ



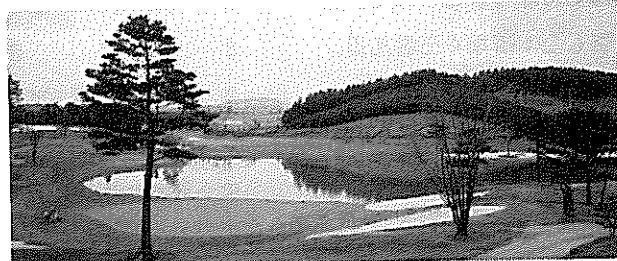
懇親会場となった矢巾町パストラルバーデン



野球大会終了後の懇親パーティにて

第29回岩手県医師会親睦ゴルフ大会に参加して

岩手町 坂井 博毅



日本ライベックスC.C軽米コース
手前は白樺コースNo. 9ホール

例年なく日本列島には秋雨前線が長く停滞し、ぐずついた天気が続いた。

今大会日の土曜日も雨が降り、大会当日の天候予報も岩手県全域雨の予想でした。大変心配された天候でしたが、明けて9月10日(日)は北に向かうに従って、雨も上がり絶好のコンディションのもと、全県から百数十名の医師とその家族が参加して、第29回岩手県医師会親睦ゴルフ大会が、クリニックマガジン社主催の全国医師選手権岩手県予選を兼ねて、二戸医師会、久慈医師会、岩手郡医師会の担当で軽米町、日本ライベックスカントリークラブ軽米コースで盛大に挙行された。

黒松や赤松でセパレートされ、雄大なコースのいたるところには池があり、その水が時にプレイヤーを苦しめましたが、緑の芝に映え大変美しく、フェアウエイコンディション↑



県医師会ゴルフ大会
青年の部5位入賞の土谷正彦選手

上位5人のネットの合計による各郡市医師会対抗の団体戦では地元、二戸医師会が優勝、準優勝には花巻医師会、3位盛岡市医師会でした。我が岩手郡医師会は青年の部の土谷正彦選手(個人5位)、久保谷康夫選手(30位)、壮年の部の坂井博毅(個人戦3位)、嶋信選手(個人戦14位)、斎木巖選手(個人戦16位)、シニヤの部三善悟選手(個人戦13位)、グランドシニヤの部の吉島一夫選手(個人戦9位)の7選手が参加し善戦したが入賞を果せなかつたのは残念でした。八角正司選手、佐藤

も抜群のコースで熱戦が繰り広げられた。前日までの雨でグリーンは止まりやすく最高のグリーンコンディションのもと、良いスコアが期待された。案に違わず紫波郡医師会の齊藤裕選手がシニヤの部でアウト40、イン38、グロス78の総合ベストグロスの優秀な成績を納めましたが、フルバック、ノータッチで行われた全国医師選手権岩手県予選は難易度が高く、高成績とはいかず全員苦戦しました。それでも開業医の代表選手には一関医師会の佐藤重雄選手がアウト、インともに41、グロス82で、勤務医の部では盛岡赤十字病院の及川昌隆選手がアウト43、イン40、グロス83で見事全国医師選手権大会出場権を獲得しました。ちなみに私はグロス84と2打及ばずまたも無念の涙を飲みました。



県医師会ゴルフ大会
壮年の部3位入賞の坂井博毅選手

尚孝選手、高橋牧之介選手、塚谷栄紀選手、及川忠人選手、佐藤郁郎選手、西島康之選手など有望ポイントゲッターが御仕事の関係で欠席され、苦戦をしいられたのは残念であった。

表彰式、懇親会も和やかなうちに無事終了し、有意義な一日を過ごし、三々五々家路についた。誠心誠意ホスピタリティーを發揮していただき、御苦労をおかけした二戸医師会の先生方と関係各位の方々に心から感謝申し上げ報告を終わります。

各地区（研修会・懇親会・症例検討会）だより

○零石町地区 症例検討会、レントゲンカンファレンス

高 橋 孝

私は単に「勉強会」と呼んでいますが、小さい町ですので、患者の名前を言うと顔が正確に思い出される様な医師の顔ぶれで、一人の患者が複数の医療機関を訪れた場合の情報とか、紹介患者のその後の症状とか、勿論自分の解らない分野のレントゲンだったり、検査値など諸々のデーターを持ち寄り検討会を開いている。

学校保健、特に上原先生からは、小児科領域の感染症サーベランス等。又町民に対する健康教育、時には政治諸々の話しもでます。

出席者は多くは医師ですが、出来得る限り歯科医師も出席する会にしたいものと努力をしています。殆どの医師が出席します。

日時は、原則として、10日過ぎの木曜日で、午後6時30分から、町内の小料理店で1ヶ月一度程度におこなっています。木曜日を選んでいるのは、町立病院があり、零石町の医療の中核として、是非病院医師の出席をお願いしたく、医大から応援の医師の来る日、曜日を選んでいます。

懇親の場も出来るだけ持つことにしてい

ます。医師会からの生涯教育費、納税組合褒賞金（私共、医師、歯科医師は納税組合を作り、年々少なくなっていますがウン十万の褒賞金が還付される）此れらを充当したり、勿論新薬の説明会であれば、メーカーと共に懇親の場を設けることもあります。

特筆することは、去る9月13日に、高橋郡医師会長をお呼びして『医政に関するお話し（最近の医政、医療のトピックス）』と題してご講演をいただき、町当局から三役、町議会議長、国保運営協議会委員長、総務課長、保健課長、福祉課長をお招きして生涯教育講座を開きました。これに併せて、岩手リハビリテーションセンターに皆さんご存知の通り花籠センター長以下4名の先生が零石地区にお仲間いりしましたので、新しくお入りになりました先生の歓迎会を開催致しました。町当局の皆さんも会長の解り易いお話しに「こんな短時間にこの様な貴重な勉強が出来た。又呼んで欲しい」との要望があった位で、大変盛会でありました。高橋医師会長と遠く葛巻町より遠路おいで下さいました西島郡医師会副会長に心から感謝申し上げます。

○玉山村地区

医 师 会 研 修 会

八 角 正 司

◆研究テーマ：肝機能障害

◆講 師：岩手医大第一内科講師

吉 田 俊 巳 先 生

◇日 時：H 7. 9. 28 (金) 19:00～

◇場 所：盛岡市

◇出席者：秋濱 晃、岡本 彰、清水妙正、

三善 悟、八角正司、吉島一夫

(敬称略 アイウエオ順)

【講演レジメ】

肝機能障害が見つかった場合

1. ウイルス性か？

○急性肝炎が疑われる場合

H B s A g	7. その他
I g M H B c	・原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
H C V 抗体	
I g M H A	
○慢性肝炎が疑われる場合	【後記】
H B s A g	吉田先生は平明な語り口ながら、的確なデータと豊富な臨床体験を基に、上記のレジメに沿って、肝機能障害について実にわかりやすく説明された。
H C V 抗体	
2. アルコール性か？	肝硬変と肝癌についても、第一内科および関連病院の年間臨床例408例の肝硬変のうち1年で5%が肝癌に推移、10年間では50%にのぼるとして、超音波診断の技術向上の必要性を力説された。
・飲酒量が日本酒換算5合以上／日	
・γ G T P の高値（正常値の10倍以上が多い）他の肝機能に比して高値	
・超音波………脂肪肝	
3. 薬剤性か？	外来の経過観察では、月に1度の腫瘍マーカーと、3ヶ月に1度の超音波を実施しているが、エコーでは、癌病巣があるかないか、を探るのではなく「病巣はある。必ず見つけ出してやる」という心意気で取り組んでいるという。
・薬疹の有無、搔痒感、好酸球の増加（6%以上）	
・D L S T（薬剤によるリンパ球刺激試験）	
4. 脂肪肝	講演終了後は、インターフェロンの薬効や投与についての厚生省指導の問題点など、活発な質疑応答も行われ、出席者からは「実に有意義だった」との声が出された。
肥満、高脂血症、超音波で高エコー	
5. 胆石症	
・A L P、γ G T P の上昇	
・超音波	
6. 封塞性黄疸	
・T. B i L、A L P、γ G T P の上昇	

○岩手町地区

無計画の計画（レントゲンカンファレンス10周年記念）

坂井博毅

1984年夏のある日、何かの集まりで、開業間もない佐々木久夫先生から、町内の医師が一堂に会して勉強と親睦を兼ねた懇談会をしてはどうかという提案がなされた。

当時診察連携が叫ばれ始めた矢先、わたりに船と、その年の9月第1回レントゲンカンファレンスが、当時の高橋司県立沼宮内病院院長先生の賛同を得て、県立沼宮内病院医局で開催された。高橋院長を始めと

する、前任の生田院長先生、現在の斎木院長先生の包容力の広さと指導力、県立病院の若い先生方の絶大なる御協力によって、10年の歴史が刻まれた。この間50回記念大会、100回記念大会など節目節目に、町長さんを始め、役場の保健課の職員や保健婦さん、岩手保健所の職員や保健婦さん、歯科医師とその職員、町内医療機関の看護婦さんやパラメディカルが一堂に会して、記念講演

会と野外パーティーが行われてきた。

この町内の誘致牧場、キロサ牧場で醸成された肉牛のバーベキューによる野外パーティーが大変好評で、節目に関係なく毎年やってほしいという声が強く、今年の夏も計画された。しかしこの8月の会は123回目の節目としては大変半端である。大変困ったが形式にとらわれず、要望に答えて、8月25日午後6時から役場の車庫前の広場で、生ビールとバーベキュー、各医療機関から持ち寄ったオニギリや果物での大野外パーティーが総勢130人が、一堂に会して親睦と友愛の夕べのひとときが持たれた。

8月30日には特別講演として、元岩手県立中央病院副院長で放射線科部長であられた松岡昭二先生から「画像診断10年の歩み」と題して、県立沼宮内病院会議室で、医師会員やレントゲン技師、看護婦さんそしてパラメディカル約40名が参加して開催された。

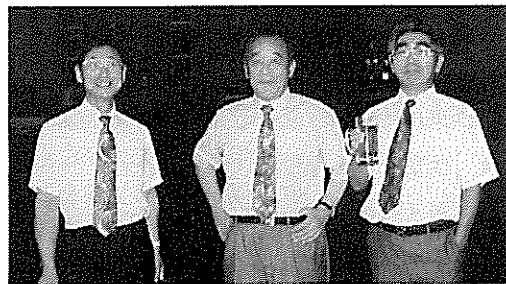
先進的な難解な近代の医療技術を大変わか



岩手町 レントゲンカンファレンス
10周年記念野外パーティ

りやすく、簡明にお話いただき、さっそく次の日から診療に役に立つ有意義な御講演をいただいた。ご講演のあと松岡先生を囲んで親睦会が和やかに行われ、有意義な夏の夕べは終わった。

加令によるボケであろうか、特別講演会を終わっても10年という大きな節目に気が付かなかった。先般、嶋先生から岩手町のレントゲンカンファレンスについて、最近の報告を岩手郡医報にのせるようにとの原稿依頼があって、初めてその年数を数えた。すると丁度丸10年の月日が流れていったのでした。そしてそれにふさわしい記念事業が計らずも終っていたのでした。大変お粗末な幹事で大変恐縮しておりますが、御協力いただいた県立沼宮内病院の院長先生を始め、いつも話題提供と、新しい医学知識を、われわれロートル会員に惜しみなく提供してくださいる若い先生方に深く感謝し、稿を終わります。



岩手町 野外パーティにて

○西根町地区

医 療 懇 談 会

嶋 信

西根町の地区開業医は7人、町立病院常勤医師1人、非常勤1人というスタッフで地域の医療に日夜頑張っています。開業医も国道282号線沿いに位置しており、現代の車社会において交通事故への対応も多くあ

ります。

最近、本年5月に前西根町立病院長であった上田靖彦先生が急逝され、それに伴って新しく7月より院長に昇任された細井信夫先生の御披露目を兼ねて、町内平館の食堂

において7月20日(木)午後6時30分より、6名の参加により地区懇談会が行われた。

当日は都合があつて参加できなかつた先生も数人ありましたが、和氣あいあいのうちに話し合いがもたれた。西根病院の内科医師について、当分の間3ヶ月交代で、岩手医大

第一内科より派遣してもらうということで、常勤医は未だ先のようであり、一日も早い赴任をわれわれも、町民も希望する次第である。病院機能もマンパワーの充実こそが最大の課題であろうと思われます。

新 入 会 員

◆①氏　名：山田 道夫（滝沢中央病院）
 ②年 令：42才（昭和28年6月17日生）
 ③出 身 地：盛岡市
 ④出 身 校：帝京大学医学部
 ⑤診療科目：循環器内科
 ⑥勤務の時期：平成7年9月11日より滝沢中央病院に勤務
 ⑦趣 味：殆ど趣味らしいものはございません。
 ⑧ひとこと：大学卒業後、岩手医大第二内科に入局致しまして加藤政孝先生のもとで、薫陶を受けました。加藤先生が定年退官後、岩手労災病院長として赴任されました。私も同時期に労災病院に出向致しまして、長きに亘り教えを受けた次第です。一昨年、加藤先生が亡くなられ、何か大きな支柱を失ったような気がしております。私の家族には、三人の子供がいるのですが7才と5才の子は岩手医大で、三番目の2才の子は滝沢中央病院で、皆、国本院長先生にとりあげていただきました。今回、国本恵吉先生の御厚志により滝沢中央病院に勤務することとなりまして、家族の皆、嬉しく思つて感激している次第です。岩手郡医師会に所属させて戴くことになりましたが、どうぞ宜しく御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

◆①氏　名：小山 寛（はーとぼーと零石）
 ②年 令：75歳
 ③出 身 地：岩手県盛岡市
 ④出 身 校：東北大学医学部（第二外科教室）
 ⑤診 療（専門）科目：外科、理学診療科
 ⑥開業又は勤務の時期：平成7年11月1日
 社団医療法人 三和会老人保健施設 はーとぼーと零石
 ⑦趣 味：読書、音楽、登山、スキー、ゴルフ
 ⑧ひとこと：所属医師会変更八回、岩手郡で打ちどめをねがつてます。よろしくご交誼下さい。

◆①氏　名：高橋 真（九戸郡県立鶴来病院より）
 昭和31年3月24日生
 ②勤務先：県立沼宮内病院 内科
 岩手医大 S57年卒
 ◆①氏　名：金森 一郎（八戸日赤より）
 昭和35年11月8日生
 ②勤務先：滝沢老人保健施設カルモナ精神科
 岩手医大 S60年卒

おらほの先生

西根町 平館クリニックの巻

院長は昭和30年4月12日生まれ、39歳と名実共に若い先生です。

趣味はゴルフをはじめスポーツなら何でもこなす腕前。しかし、肝心なゴルフに関してはシングルプレイヤーであるが故のご苦労があるようです。毎夕、ゴルフ練習場に出掛け5～600球も打ち。暇さえあればランニングを、或いはイメージトレーニングをしていらっしゃる。まあ、これだけ精進込めた練習をされていますから当然各種コンペには参加されるのですが……ご苦労絶えません。

例えば「……CUP」では大会2日前辺りからどうも落ちつきがなくなる。そして前日は顔面蒼白、前夜は胃痙攣と下痢発現。薬局で内服薬をチョイスしていることも度々。いよいよ当日の朝はお見受けしないものの如何ようかは想像がつきます。職員一同、院長のご健闘をお祈りするというより今日こそはリラックスされてプレイ出来ますようお祈りしているのが実情となりました（笑）。

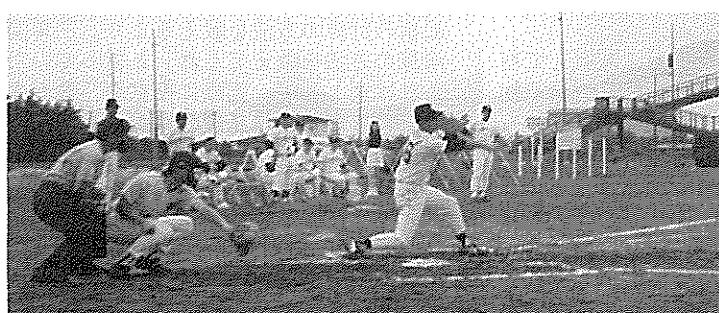
何しろ、あれだけ血の滲むような練習を

されていらっしゃるのですから既にお持ちの力を半分も発揮出来たら間違いなく好スコアを出せると我々は確信しているのですが。ゴルフとは真にメンタルスポーツと言う所以でしょうか。

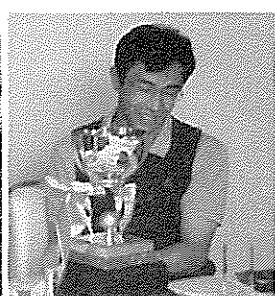
院長は「プレイヤー全員が同じ条件、やっぱり俺の力不足」と自責されていらっしゃいますが我々としては何とも惜しくてたまらない胸中です。それにしても院長はゴルフに限らず色々な場面で多くの期待を背負い重荷でもありプレッシャーもありましたが、よく事務長には「職員が伸び伸びと仕事が出来るような環境作りをしてあげて下さい」とお話ししていました。ご自分がご苦労されているからこそ人には優しい院長の人柄が偲ばれます。

私たち職員一同も先生や患者さんがホッと出来るようなクリニックにして行きたいと思います。どうかこれからも先生には益々健康で御活躍いただき、思う存分豪快なプレーが出来ますようお祈り致します。

（職員一同）



県医師会野球大会で活躍する土谷正彦先生



ゴルフ大会での
土谷正彦先生

随想

三角関係の清算の仕方を教えて

東石町 高橋 孝

小学校三年の孫がよく忘れ物をして手の甲に担任の先生にマジックインクで忘れ物の名前を書かれてくる。先生から聞くと宿題、家庭連絡帳等忘れ物が多いと聞く。我々が小学生の頃は忘れ物をすると2キロ半もある家まで取りに戻ったものだ。

今は忘れ物をして家に取りに帰しても、途中交通事故、誘拐等又親のご意見もあることと思うし先生も恐々としているに違いない。

小児成人病など子供の習慣病を考えるとき、就学前或は小学校低学年で色々の良い習慣を時間をとつけて付けるべきだと考えている。忘れ物もしかしり、塩分制限（私は良い習慣付けが出来ていなくてテーブルの下で、かくして醤油を足したりして凌いでいるが）オヤツもしかしり福沢諭吉の言葉を借りるまでもなく教育の目的は「よい習慣をつけること」であり、九九、国語など自然加齢による脳細胞の発達時に集中して教え込んでも遅くはない。むしろ効率的と考えるが如何でしょうか。これから生活していく為の最低の約束事、即ち朝夕の挨拶、食事時のマナー、学校への忘れ物をしない。勿論成人病予防の健康な食生活の習慣等は親も一緒になって考えて、忘れ物などはもう一度家に戻って取ってくる位の厳しい教育が必要で、月曜日の予防接種は、忘れ物が多く、予防接種に必要な問診表を忘れてくるので出来ないと言う養護教諭の話をきくのが、おかしなものである。風疹の問診医として予防接種に参加した。「…君！」、「…君だね！」「体温は36.8℃だね！」、「…」「風邪をひいて薬をのんで体に風疹ができたり、具合が悪くなつたことがありますか？」、「…呼んでも返事をしないで首をこくんと下げるだけ。今言われている「かん黙」なのか。教師の体罰により女生徒が死亡した不幸な事件があった。勿論体罰には反対だが、しかし教育には何がしかのペナルティが必要ではないだろうか。

将来アボットたり、不幸なことに遭遇して初めてペナルティを知るよりは、早く、早く知らせたいものだ。食生活等は幼児期でがっつりと模たいものだ。最近の新聞紙上にも東京女子医大の村田教授の話として「健全な生活習慣は六歳頃までにつけたい」と話していたが正にその通りであり、「いじめ」等もこの約束事の教育（勿論家庭でも）が出来ておらず、テレビやマンガを通じての間接的な一方的な情報のみで行動する子供社会を生みだしていると思っている。テレビを観ても、間違

いの場面と感じたら、間違いであることをきっちり教え、親も一緒に見て家族の中で話し合い何が悪いか、何が受け入れられるか、何が受け入れられないかはっきり子供に教える必要がある。

我々の年代になると薄味に慣れることが大変なことは多くの人が経験していると思うが、小児成人病の予防には学校、家庭、地域社会の協力が必要だと言われていることは、教育と実践が伴わなければ成果が上がらないからで、しかし現状は医師、学校だけが一人歩きをしているように思えてならない。先日の学校保健会でも、角田市医師会からも、父兄への啓蒙の必要性についての発表があったが、正にその通りで、今育児最中の親にどれだけの小児成人病の恐ろしさについて教育がされているだろうか、成人病を作り出すレベルブッフ通りのスナック菓子、車から降りずにかかる美味しい、美味しい不健康食品を買いたいと、助手席に子供を座らせてタバコを吸いながら運転している母親をよく見かけるが、親ではなく「オヤ、オヤ」である。アイドル歌手の歌謡ショー等は聴衆を集めることが出来ても、小児成人病の予防の話しにどれだけ人を集められるだろうか。スクリーニングでひっかかった父兄を呼んで指導しても現在の食生活では、後から、後から雨後のタケノコの様に成人病予備軍がぞくぞくと生まれることは間違いない。さて学童に対する教育、とくに基礎教育だが、我々にとって小学校、中学校はX、Y方程式、三角形の面積の計算の方法を教えるために狭き門ではあるが、どんどんカリキュラムに切り込んで、養護教諭、保健指導の教諭と共に成人病の恐ろしさ、健全な生活習慣の育成の大切さを説くべきだ。

上野で時間を延ばして聞いた漫才で学校で教える教育の非現実さを風刺してか「一生の間に使うか使わないX、Y方程式や三角形の面積の計算の方法を教えるより、三角関係の清算の方法を教えてくれ」と言っていたが、これは別として、実際に役立つ、最も大切な健康教育が、或は基礎教育が疎かになつてゐるよう思えてならない。戦後50年といろいろ言われているが、僕は戦時中の小学校の教育、親の模を受けて育ち人生に大きく、大きく役立っている。

当時小児成人病の予防、喫煙による害について教育されたらもっと、もっと成果が上がつていただろうと言ったら、叱られるだろうか……。

第22回 日母大会に参加して

鳴 信

先日、京都市において行われた「日母大会」（われわれ産婦人科の全国組織団体で、日本母性保護産婦人科医会—通称「日母」といわれる。）に初めて参加してきました。

この大会では今回が第22回大会で、第1回大会は日母本部主催で、東京において昭和49年11月23日に始まったのが最初であり、以後今日まで続いており、一般の学会とは、趣きを異にしており、日母ファミリーの団結を高め、日母組織の強化を詮うお祭りである。

西日本と東日本の各県を9ブロックに分割し、今年は西日本で、来年は東日本の東北ブロック担当で、次期開催地が岩手県ということもあって、県内より各担当部門の見学、視察を含めて数十名の会員が今回参加した。

今年の京都大会は『悠久の京で、生れ生きる歓びを』テーマとして10月13日～15日まで開催された。

先にも述べた通り学会ではなく、講演会もありますが、会員家族の懇親と親睦が主で、13

日にはゴルフ大会（滋賀県琵琶湖C.C.）、14日、15日は教育講演や研修講演があり、最終日の15日には市民も参加しての『少子問題を考える』と題してフォーラムがあった。その間14日には観光コースも用意され、御夫婦で参加の会員は紅葉にはまだ早い京都の秋を満喫されていた。

われわれ次期開催地視察団は、今回の結果から新たな構想を練って、郷土岩手らしさとまごころを込めて次回にはまた多くの参会者を獲得すべく、ゴルフ場や懇親会場でパンフレットを配ったりした。

次期テーマも既に『イーハトーブから未来へのメッセージ』と決定し、主会場並びにゴルフ大会会場の予約もお願いしている。

第23回開催地盛岡は、全国の日母ファミリーを迎えて、みちのくイーハトーブの秋—平成8年10月11日～13日はかなりの人数の日母会員で賑わうことになる。

岩手郡医師会行事予定

○11月25日（土）

午後3時30分より

於ホテルメトロポリタン盛岡

「臨時総会・講演会・忘年会」

講師：「糖尿病について」

盛岡赤十字病院内科

木 村 秀 孝 先 生

「墨絵の芸術（仮題）と実演」

墨 絵 書 家

白 沢 恵 舟 先 生

○11月26日（日）

「岩手医学会秋季大会」 於 県医師会館

○12月2日（土） 午後2時より

「産業医研修会」 於 西根町 トーノ精密
西根工場見学

○平成8年1月24日（水）、1月31日（水）、2月7日（水）の3回

「県民健康講座」 於 岩手町 午後1時
～2時30分

○平成8年3月2日（土）

「通常総会」会場未定

平成7年度 県民健康講座カリキュラム

—岩手町にて—

開催日時 1月24日（水）
 1月31日（水）
 2月7日（水）
 時 間 午後1時～2時30分
 場 所 岩手町五日市生活改善センター予定

○1月24日（水）

挨拶 岩手保健所長 玉田清治
 1:00～1:10pm
 岩手町町長 田中幸平
 1:10～1:20pm
 かかりつけ医について
 岩手郡医師会会长 高橋牧之介
 1:20～2:00pm
 頭痛について
 県立沼宮内病院院長 斎木巖
 2:00～2:45pm

○1月31日（水）

胸痛について

和田医院 和田利彦
 1:00～1:45pm

腹痛について

県立沼宮内病院内科 渡辺恒雄
 1:45～2:30pm

○2月7日（水）

腰痛について

県立沼宮内病院外科 佐藤敏通
 1:00～1:45pm

骨粗しょう症について

坂井医院 坂井博毅
 1:45～2:30pm

修了証書授与式

2:00～pm

〈編 集

後 記〉

●朝夕の寒冷が厳しい季節となって参りました。10月6日には岩手山に初冠雪が見られ、平年より6日早く、去年より12日早いという。また当日は北海道上川町では吹雪の状態で、車にはチェーンを装着するシーンがTVの画面でみられ、早い冬シーズンの到来を思わせるものでした。

た余裕のあるつくりであり、開場してまだ約5年位とのこと、カートもプレーヤーの乗るカートではなく、キャディが1人乗るカートであった。

今回スコア的には満足でなかった選手はもう一度挑戦意欲をもってアタックしてみては如何かな。

●県医師会行事の野球大会、ゴルフ大会の模様を三善先生、坂井先生に御寄稿していました。ベテランの味のある内容と思います。どうもありがとうございます。野球大会では、今回室内（矢巾町田園ホールにおいて）での開会式という、ユニークな方法がとられ、またわれわれの試合の頃はまだ曇天ながら十分ゲームもできて、終了時も雨はまだ降ってはいなかったのですが、勝ち進んでいるチームは準決勝以上は試合続行不可能（グランドコンディション不良）となり、ジャンケンで優勝が決まる（花巻市医師会）という事態になった。

●久々に各地区的集まりの模様を寄稿していただいた。岩手町ではもう10年も続いているという。これからもますますの発展を期待します。各地区幹事の先生方どうもありがとうございます。

軽米町で行われたゴルフ大会は（担当二戸、久慈、岩手郡医師会）、27ホールの雄大なコースに適当に池を配置したゆったりとし

●「おらほの先生」には西根町平館クリニックの土谷正彦先生にお願いしました。職員の先生の行動を観察している様子がみられゴルフであればスコアに影響が出るのが前日の様子からわかるようですね。

●これから医師会関係の行事予定を掲載しましたが、参考にしながら予定に入れて積極的に参加していただきたいものです。

(M. S記)